



白砂青松の地で

135名での学びが始まりました！

入学式では、先生からの呼名に対して、25名の新入生全員が「はい」と返事をして上手にあいさつができました。恥ずかしそうな表情もありながらも大変立派でした。上級生を代表して、6年生の代表が歓迎の言葉を伝えてくれました。1年生を仲間に入れて、加津佐小学校135名の学校生活がスタートです。



次の日から、1年生の真新しい道具や好奇心にあふれた行動と、1年生に関わる上級生の優しい素振りが学校を明るく、よい雰囲気をつくってくれています。特に、6年生の登校後の手伝い、教室移動のサポート等、思いやりのある関わり（『あったか行動・あったか言葉』）により「笑顔」「ありがとう」が1年生教室に広がっています。また、このような活動をとおして、6年生に最上級生としての自覚と自信が芽生えていくと考えます。

初めての給食の時間

入学してから1年生は小学校生活を「知ること」から始めています。靴の置き方、自分の荷物の整とん、トイレの場所と使い方・・・、早く小学校に慣れるために、そして安心安全に過ごせるようにと約束事の確認を続けています。この点は上級生がお手本です。



16日から給食が始まりました。我々は給食指導として、衛生、食育、マナー等の指導もしながら、楽しい時間になるように指導しています。1年生も少しずつ自分たちでできることを増やす給食の時間になっていくでしょう。小学校最初の給食は、「おいしい」の声も聞こえました。給食時間を楽しみにしてくれることを願っています。



タイトルの言葉『白砂青松』について

加津佐の自慢について尋ねると、「前浜」「きれいな海」と多くの子が答えます。『白砂青松（はくしゃせいしょう）』は、白い砂と青々とした松からなる美しい海岸のある風景のことです。ふるさとに誇りを持ち、その場所で学びを高める、そんな学校にしたいと思っています。子供たちの様子、学校の教育について紹介する通信にしていきたいと思います。